



FCTC タバコ規制
枠組条約
を知っていますか？

タバコは死亡、疾病および障害をおこすことが、科学的証拠により明らかにされています。
タバコには毒性、発がん性があり、タバコを吸うことは依存症という病気です。
タバコによる害の広がりが深刻で世界的な問題であり、
各国が組織的に国際協力をするために条約を制定しました。
我が国を含む、174カ国が批准をしています(2011年11月現在)。
世界中のほとんどの国が批准していると言っても言い過ぎではありません。

WHOからのメッセージ



特定非営利活動法人 日本禁煙学会・ノバルティス ファーマ株式会社

NPO 法人禁煙みやぎ HP から

世界の多くの国々はタバコの健康被害に対して、かなり積極的な対策をとっています。先進国においては、パッケージにタバコの被害写真を大きく掲載したり、値段を高くして気軽に購入できないようにしている国々がほとんどです。

じつは、そんなタバコ対策がとられているのには、世界の人々の健康対策を総括している世界保健機関(WHO)がタバコを規制する事を進めているからなのです。

左図にあるようにタバコ規制枠組み条約(FCTC)という世界条約のもと、「タバコ税を上げる」「タバコの広告を禁止する」「パッケージやラベルの規制を行う」などの具体的な対策が行われているわけです。

FCTC は2005年に発効され、2021年時点で世界の182カ国がこの条約を守る事を約束(批准)しているため、ほとんどの国で今後さらにタバコ規制が進んでいくでしょう。

日本も2014年に批准していますが、先進諸国のなかでは対策が遅れています。世界のタバコ規制は確実に進んでいるなか、日本もいずれこの潮流に乗ることになるでしょう。

産業デザイン科 奥田恭久

| たばこ規制枠組条約：WHO FCTC (抜粋) | |
|-------------------------|---|
| 第3条 | タバコの消費及びタバコの煙にさらされることが、健康、社会、環境及び経済に及ぼす破壊的な影響から現在及び将来の世代を保護する目的 |
| 第6条 | タバコの需要を減少させるためのタバコの価格及び課税への措置 |
| 第8条 | 受動喫煙からの保護 |
| 第9条 | タバコ製品の含有物の規制 |
| 第10条 | タバコ製品の情報開示 |
| 第11条 | タバコ製品の包装とラベルにリスクをわかりやすく明記 |
| 第12条 | 教育、情報の伝達、訓練、啓発 |
| 第13条 | たばこ広告、販売促進、スポンサーシップの禁止 |
| 第14条 | 禁煙治療の普及 |
| 第16条 | 未成年への販売と未成年者による販売禁止 |
| 第17条 | 経済的に実行可能な代替活動支援の提供 |

YAHoo! ニュースから